

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 1

主 な 取 組		スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実					担当課	自己評価	
							スポーツ推進課	B	
目 標		「週1回以上のスポーツ実施率」を上げ、誰もがスポーツに親しめる機会の充実を図る							
取 組 状 況		市民が週1回以上、何らかのスポーツ・レクリエーションに関わり、継続的に実践するためのきっかけづくりとして、教室・大会等を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点		近年は既存事業に関しては、コロナ前に人数が戻ってきているため、今後は新規事業を実施し、より多くの市民にスポーツを実践する機会を提供する。							
令 和 7 年 度 実 績		教室・大会の総参加者数が6,123人であった							
指 標 及 び 説 明		【指標】 市主催の教室・大会・イベントへの参加者数			【説明】 市主催の教室・大会・イベントへの参加者数により、市民のスポーツ・レクリエーションに対する関心度を判断するもの。				
指 標 の 推 移		単位	現状値	実 績 値				目標値	
		人	R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6 平時	R 7 平時	R 8	R 8 平時
			7,732						9,870
			R 2 有事	5,319	7,934	8,850	6,123		R 8 有事
			1,610						1,880
分 析		令和7年度は雨天で中止した事業・廃止した事業もあり、参加者総数としては減少してしまったが、大規模なイベントについては、前年よりも多くの方が参加された。							
課 題 及 び 改 善 点		大規模な事業に関しては、コロナ前を上回る参加者となっているものがある。今後は、新規及び既存イベントについて、参加者数が前年を上回るよう努める。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 1

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーション事業の推進						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
目 標	条例の趣旨に則り、新たなスポーツ大会の開催等、市民のニーズに合わせた事業の実施を図る。							
取 組 状 況	健康増進を目的とした、ラジオ体操などの事業や、駅伝競走大会などの競技力向上及び目的達成度を確認する大会を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	新たなスポーツ事業を開催するだけでなく、その新たなスポーツが地域に根付くような環境づくりを検討する。							
令 和 7 年 度 実 績	スポーツ・レクリエーション事業・大会を14事業実施することができた。							
指 標 及 び 説 明	【【指標】 設定困難				【説明】			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事						R 8 有事
分 析	新たなスポーツが地域に根付く取組みとして、モルック大会やアーバンスポーツの大会・イベントを開催した。							
課 題 及 び 改 善 点	新たなスポーツを地域に根付かせるために、実施のきっかけとなるような取り組みを引き続き検討する。また市民のライフステージに合わせた取り組みも併せて検討する。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	関係団体との連携					担当課	自己評価	
						スポーツ推進課	A	
目 標	市スポーツ協会に加盟していないスポーツ団体とも連携を図り、新たなスポーツの教室や大会の実施を検討する。							
取 組 状 況	市民のスポーツ活動の充実を図るため、市スポーツ協会や市スポーツ推進委員協議会等と連携をとり、事業等を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	アーバンスポーツ・eスポーツを中心とした新たなスポーツが既存のスポーツと同等に地域に根付くよう関係団体と連携を図る。							
令 和 7 年 度 実 績	昨年度同様にアーバンスポーツやeスポーツを中心とした、新たなスポーツの教室や大会を実施することができた。またスポーツ推進委員協議会・モルックの市民団体と連携しモルック大会を実施した。							
指標及び説明	【指標】 設定困難				【説明】			
指標の推移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事						R 8 有事
分 析	今年度新たな取り組みとして、市民団体と協力してモルック大会を盛大に開催することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	アーバンスポーツ・eスポーツ・モルックなど新たなスポーツが既存のスポーツと同等に地域に根付くよう関係団体と連携を図る。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	スポーツ・レクリエーションの表彰						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
目 標	入間市スポーツ振興まちづくり条例に基づき、多様なスポーツ種目に対しても表彰できるよう、市スポーツ協会と調整し、スポーツ賞の規定の見直しを図る。							
取 組 状 況	スポーツ振興を図るため、優秀選手や優秀団体の表彰や奨励を行っている。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	スポーツ協会に加盟していないスポーツに対して表彰をできるようにしたため、大会規模や、その競技のフォーマットがわかりにくい大会等も上がってくるため判断が困難である。スポーツ賞の権威が下がらないように対応する必要がある。							
令 和 7 年 度 実 績	スポーツ賞の受賞者が73名、奨励金の交付者（2月時点）が 38件、98名であった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 スポーツ・レクリエーション大会出場選手奨励金の件数					【説明】 奨励金の申請件数により、市民の競技スポーツにおける活躍度を判断する。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		2 9	平時	平時	平時	平時		4 0
		R 2 有事	3 4	3 5	4 1	3 8		R 8 有事
		4						8
分 析	市内に在住・在勤・在学してる選手の成績に左右される指標であり、令和7年度は、スポーツ賞の表彰件数及び奨励金の交付者件数・人数が減少したため。							
課 題 及 び 改 善 点	スポーツ賞及び奨励金制度そのものを知られていない場合があるため、より多くの市民に申請してもらえるよう周知方法について検討する。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

施 策		(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進			
施 策 評 価	主な取組		担当課	自己評価	総合評価
	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実		スポーツ推進課	B	A
	スポーツ・レクリエーション事業の推進		スポーツ推進課	A	
	関係団体との連携		スポーツ推進課	A	
	スポーツ・レクリエーションの表彰		スポーツ推進課	B	
学 識 経 験 者 意 見 等	「スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実」に関しては、市民が継続的にスポーツ活動に参加する契機となる各種教室や大会が実施されていることを評価いたします。令和7年度は天候等の影響により参加者数が減少したものの、大規模イベントでは参加者数の増加も見られており、市民のスポーツへの関心は維持されているものと考えます。今後は新規事業の展開と既存事業の充実を図り、幅広い世代の参加促進につなげられることを期待いたします。				
	「スポーツ・レクリエーション事業の推進」に関しては、健康づくりから競技スポーツまで多様な事業を実施していることを評価いたします。特にモルックやアーバンスポーツなど新たなスポーツへの取組は、市民のスポーツ参加機会の拡大につながるものであり評価できます。今後は事業実施にとどまらず、地域に定着するための継続的な仕組みづくりにも期待いたします。				
	「関係団体との連携」に関しては、市スポーツ協会やスポーツ推進委員協議会をはじめとする関係団体と連携しながら事業を展開していることを評価いたします。特に市民団体との協働によるモルック大会の開催は、新たなスポーツの普及と地域活性化の両面から意義のある取組であると考えます。今後も多様な主体との連携を通じてスポーツ振興が推進されることを期待いたします。				
	「スポーツ・レクリエーションの表彰」に関しては、優秀な成績を収めた選手や団体を顕彰し、市民のスポーツ活動への意欲向上に寄与していることを評価いたします。一方で、スポーツ賞や奨励金制度の認知度向上や選考基準の適切な運用は今後の課題であると考えます。制度の周知を進めるとともに、表彰制度の意義や信頼性が維持されることを期待いたします。				

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組		スポーツ指導者等の充実					担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
目 標		限られた指導者の養成だけではなく、広く選手を支えることに視点を置いた講座等を開催する。						
取 組 状 況		スポーツ指導者及びレクリエーション指導者の資質向上と活動機会の提供を図ることを目的に、指導者養成や資質向上を図ることができた。						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点		近年少年団や市スポーツ協会加盟団体のチームにおいて指導者及び保護者によるトラブルが増えているためスポーツ現場における指導方法についての講座の開催を検討する。						
令 和 7 年 度 実 績		指導者向けのハラスメント講座を実施した。						
指標及び説明		【指標】 設定困難			【説明】			
指標の推移	単位	現状値	実 績 値					目標値
		R 1 平時	R 4 平時	R 5 平時	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		R 2 有事						R 8 有事
分 析		指導者向けのハラスメント講座を実施することで指導者に対し、指導方法を見直すきっかけづくりを行うことができた。						
課 題 及 び 改 善 点		指導者の指導に対する意識や指導力向上につながる講座を今後も展開する必要がある。						

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	スポーツ施設の整備						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	A
目 標	スポーツ施設の長寿命化及び非構造部材の耐震化を目的とした改修工事を実施し、スポーツ施設を安心かつ快適に提供できるよう整備する。							
取 組 状 況	公共施設マネジメント事業計画に基づく、スポーツ施設の長寿命化及び非構造部材の耐震化を目的とした改修工事の計画的な推進。スポーツ施設を安心かつ快適に提供するための整備。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	施設改修にあたっては、障害を持った方を含めた、だれもが利用しやすい施設を目指した改修を行う。令和7年度に宮寺地区体育館の改修工事を実施する。							
令 和 7 年 度 実 績	宮寺地区体育館の改修工事を令和7年7月より開始し、12月に施行完了、翌8年1月8日をもって施工業者より引き渡ししがされた。宮寺地区体育館をもって公共施設マネジメント事業計画に基づく体育施設の長寿命化が完了し、安心かつ快適に利用できる環境が整備された。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 改修工事実施率				【説明】 年度で予定する改修工事の実施率			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
			平時	平時	平時	平時		
		R 2 有事	100	100	100	100		R 8 有事
分 析	施設利用者及び施工業者、工事担当課と折衝を重ね、施設利用者に不都合を与えることなく施設の改修工事を完了させ、利用再開まで進めることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後、体育施設の長期的な運用に係る方針を定め、現在無償で貸し出している施設の有料化等の背策を検討・実施する必要がある。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 2

主 な 取 組	地区体育館の活用						担当課	自己評価
							スポーツ推進課	B
目 標	地区体育館の円滑かつ柔軟な利用調整を通して、地域の生涯スポーツ活動を促進する。							
取 組 状 況	地区住民を中心とした地区体育館の円滑かつ柔軟な利用調整。地区住民の生涯スポーツ活動を促進するための事業を実施した。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	施設改修にあたっては、障害を持った方を含め、だれもが利用しやすい施設を目指した改修を行う。平時の利用者数に戻すため、地区体育館の活用方法の検討が必要になる。							
令 和 7 年 度 実 績	宮寺地区体育館の改修工事の実施中は利用ができなかったため、1年を通しての5館全ての利用はできていないが、指定管理者による新規の事業を開始するなど、利用の拡大を進めることができた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 地区体育館5館の利用者数				【説明】 地区体育館5館の利用者数合計。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		160,014	平時	平時	平時	平時		170,000
		R 2 有事	94,679	114,500	101,713	101,615		R 8 有事
			※1月末実績	※1月末実績	※1月末実績	※1月末実績		100,000
分 析	令和4年度と比較すると増加しているが、R1年度時点の利用状況に戻っていないため。※令和7年7月～12月にかけて宮寺地区体育館改修工事を実施のため利用者数減少。1施設当たりの利用人数は、令和6年度と比較して大きな増減なし。							
課 題 及 び 改 善 点	宮寺地区体育館の改修工事をもって、地区体育館全5館の改修工事が完了し、平時の利用状況に戻る。平時の利用者数に戻すため、地区体育館の活用方法の検討が必要。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

【施策】 (2) スポーツ環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 3 3

主 な 取 組	学校体育施設の開放					担当課	自己評価	
						スポーツ推進課	A	
目 標	新規に利用可能な体育施設における登録団体数を増やす。							
取 組 状 況	学校体育施設開放事業（体育館・校庭）の円滑な実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	調整会議への参加忘れにより、翌月の利用予約が取れなかったケースが散見された。							
令 和 7 年 度 実 績	調整会議に代わり、オンライン（LINE を活用）で予約ができるシステムとそれに連動した鍵の管理方法の導入を試験的に開始した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 学校体育施設の利用者数					【説明】 学校体育施設開放対象の25校合計年間利用者数。		
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		129,248	平時	平時	平時	平時		140,000
		R 2 有事	108,277	106,210	117,778	122,124		R 8 有事
		63,059	※1 月末実績	※1 月末実績	※1 月末実績	※1 月末実績		70,000
分 析	1 地区でオンラインによる予約、連動した鍵の管理方法を試行的に導入し、利用者の利便性向上を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	残りの地区への速やかなシステムの導入を行う。							

【施策の体系】 5 スポーツ・レクリエーション

【政策】 第1項 生涯スポーツの充実

施 策	(2) スポーツ環境の整備			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	スポーツ指導者等の充実	スポーツ推進課	A	A
	スポーツ施設の整備	スポーツ推進課	A	
	地区体育館の活用	スポーツ推進課	B	
	学校体育施設の開放	スポーツ推進課	A	
学 識 経 験 者 意 見 等	「スポーツ指導者等の充実」に関しては、指導者の資質向上に向けた取組が継続的に実施されていることを評価いたします。令和7年度にはハラスメント防止に関する講座を実施しており、スポーツ現場における適切な指導環境の整備につながる取組として評価できます。今後も指導力向上や安全・安心な活動環境づくりに資する研修の充実を期待いたします。 「スポーツ施設の整備」に関しては、公共施設マネジメント事業計画に基づく改修工事が着実に進められ、宮寺地区体育館の改修完了をもって体育施設の長寿命化に係る整備が完了したことを高く評価いたします。利用者の利便性や安全性の向上につながる成果であり、今後は整備された施設の効果的な運用についても検討が進められることを期待いたします。 「地区体育館の活用」に関しては、施設改修期間中という制約がある中でも、指定管理者による新たな事業の実施など利用促進に努めていることを評価いたします。一方で、利用者数は依然としてコロナ禍以前の水準には達しておらず、今後は改修を終えた施設の特性を活かした事業展開や利用促進策の充実が求められると考えます。 「学校体育施設の開放」に関しては、地域住民の身近なスポーツ活動の場として学校施設を有効に活用していることを評価いたします。特にオンライン予約システムと鍵管理の試行導入は、利用者の利便性向上や管理業務の効率化につながる取組として評価できます。今後は導入地区の拡大を進め、より利用しやすい環境整備に取り組まれることを期待いたします。			